



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和7年度地域でつながる家庭教育応援事業 家庭教育応援プロジェクト
○家庭教育応援企業新規登録 (セイユー建設様)

1 2社目の新しい仲間です！

この度、相馬市にある株式会社セイユー建設様が、新たに家庭教育応援企業に参加して下さることになりました。セイユー建設様はこれまでも地域の子どもたちのことを考えながらの企業経営を進めており、令和6年の4月に開催した「ビルダーズ・ドリームマルシェ」は、子どもにも大人にも大好評でした。このイベントのコンセプトは、「次世代を担う子どもたちの学びの場」であり、多様な分野の大人が集まり、子どもたちが興味を持てる機会を創出しようとしています。

また、相馬市で活動するさまざまな業種の方々や高校生ボランティアに協力を求め、地域の仕事や社会づくりについて直接体験し、学べる場を提供したいと考えています。さらに、地域の多様な人々とのコミュニティを通じて相馬市全体の活性化に寄与したいとの思いがあります。

イベント当日は、関わる全ての人が笑顔で過ごせたそうです。このイベントは、さらにパワーアップして次年度も開催される予定です。こちらのイベントも、今から楽しみです。



3月18日に認証書をお渡ししました

株式会社セイユー建設の紹介



株式会社セイユー建設は、平成10年に設立されて以来、相馬市を中心に"人と人のおつきあい"をモットーにしながら、地域に密着した、人・街にやさしく、環境にやさしい、企業を目指してお仕事をなさっております。また、建設や土木、解体といった幅広い企業活動とともに、カフェやラーメン店といった飲食業、多目的ホール経営を通しての地域の文化振興にも力を発揮なさっております。

さらに、前述したようなイベントを通して地域の子どもたちの居場所づくりを率先して行ったり、従業員の皆様の子育て支援などにも力を入れたりするなど、相双地区の家庭教育を大いに支えてくださる企業様です。

2025年6月1日 9:00～16:00

「ビルダーズ・ドリームマルシェ」

子どもたちの元気な声と笑顔であふれる

「夢と希望をはぐくむマルシェ (フランス語 = 市場)」が開催!!

主催：ビルダーズドリームラボ



昨年に引き続き、子どもが主役になれる「ビルダーズドリームマルシェ」が開催されました。セイユー建設様がメインスポンサーとして、全面バックアップしております。

<主旨>

- 1、地域の大人が活躍する姿を目にしたり、実際に体験をしたりすることで、**子供たちに自らの将来を考えるきっかけを提供する。**
- 2、建設業という物づくりに関わる会社と市民とが、手を取り合っで子供たちの育成を担うことによって、「地域の守り手」としての役割を果たす。
- 3、度重なる災害により甚大なる被害を受けた街を元気づけるため、地元の企業 (建設業・飲食業・農業等) と協力しながら**地域の活性化を促進する。**



2025年6月1日 9:00～16:00

「ビルダーズ・ドリームマルシェ」

3400名以上の来場 自衛隊や警察、消防、
相馬看護の方が参加し、会場を盛り上げました！

<内容>

- 地域で活躍する「はたらくるま」の展示・試乗体験、操縦体験、写真撮影
- 当イベント限定オリジナル通貨（Bill）を用いて、「対価を得る」という社会の仕組みを経験する
- 子ども食堂～ 選べるおかず！ビルを使って購入できる特別ランチ
- 地元企業ブースにて、ワークショップや物づくり体験【職業体験】
- 地元で活動する子どもたちの発表の場の提供
- キッチンカーや地元飲食店による飲食ブース
- こどもの遊び場（エア遊具、室内で遊べる玩具提供）
- ゲーム（VR体験）、ドローン体験・地域の専門学校PRブース（専門学生と共に学ぶお仕事体験）
- 自衛隊の音楽隊の演奏、車両の展示



◎ 地域の子どもたちと子育て世代を応援するために、福島県相馬市で活動する団体「ビルダーズドリームラボ」が、2024年に発足しました。3つのことが1日で完結できるイベントにしたいという願いが込められております。地域を支える大人と共に、すべての子どもたちが夢をカタチにする充実した1日をお過ごしください。

地域を知る

職について学ぶ

将来を考える

【相双教育事務所から】家庭教育応援企業を常時、受け付けております！

以下に示したようなこのような活動は、多くの企業様で実践なさっていると思います。
1つでも当てはまれば、家庭教育応援企業の参加条件を満たしております。いつでもお問い合わせください。
(相双教育事務所:0244-26-1315)

従業員が休暇を取りやすい職場の雰囲気づくりに努めている

子どもたちに働く姿を見せたり、仕事を体験させたりしている。

子どもたちの学習や体験活動に協力している。

従業員や地域の親子が参加できる行事やレクリエーションを実施する。



従業員が子どもの参観日等の行事に参加することができるようにする。

2月24日 発行

